

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・作品を作った際の発表を通して自分や友達作品のよさに気付くことができた。また、友達作品を見ることで、次の取組への意欲につながった。
- ・グループの取組でも、一人一人が調理する機会を設けることで、経験のない児童もアドバイスを得ながら実習し、技能を身に付けるきっかけとなった。

(2) 課題

- ・昨年度までの取組により全体的に技能面の力が伸びてきているが、児童によって差がある。
- ・知識として身に付けたことを、家庭のスタイルが多様化している状況の中、実生活に結びつけることが難しい。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・調理では、基本的に一人調理を中心として実習をし、技能を身に付けさせる。 ・学んだ知識が実生活のどのような場面で生かせるのかについて理解を深める場を設ける。 ・調理する上で大切ないくつかのポイントを具体的に提示し、スモールステップで授業を進めることで、基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる。	・自分の生活をみつめ、振り返る活動を多く取り入れながら、友達や示された資料と比較しながら考えることができるようにする。 ・学習したことから家庭の生活で取り入れられる工夫を考え、生活がよりよくなる実感をもつことができるような学習の場を設ける。	・児童が「楽しい」と思えるような家事を家庭生活の中でも自ら率先して実践できるように家庭と連携をする。 ・身近な物の選び方や買い方、環境に配慮した物の活用などの資料を活用しながら、より実践的に学習する場を設ける。